

手芸作品の展示、即売など

詰碁懸賞、子ども映画会も

公民館祭り

多彩な展示会などを含め、第一回留萌市公民館祭りが、十日から幕を開けますが、市民多数の来場を、お

行 事 名	期 日	会 場	対 象	適 要
秘境ヒマラヤ展	10月10日～12日(2日)	公民館	一般市民	全紙パネル張りカラー80点
世界児童画展	〃	八幡屋デパート	一般市民	210 国90点
台北書道展	10月13日～14日(2日)	公民館	〃	台北小、中、高一級40点
市民俳句作品展	10日～13日(4日)	八幡屋デパート	〃	小中高一般 30点
旅の思い出展	14日(1日)	留萌駅内	〃	全国郵便包装紙による300点
手芸講座作品展	10日～13日(4日)	公民館	〃	〃
開拓等記念物展示会	10日～14日(5日)	〃	〃	(故五十嵐徳太郎展他)
公民館各種行事紹介写真展	10日～14日(5日)	〃	〃	〃
開基の詰碁懸賞	10日～13日(4日)	〃	〃	〃
交通安全の問題の展示	〃	〃	〃	〃
生活工夫展	10日～14日(5日)	〃	〃	生活に生かせるもの 児童生徒 30点 一般 20点
石原八東氏文化講演会と句会	14日(1日)	午後5時30分より 公民館	〃	講師 現代俳句協会幹事長(東京) 石原八東
交通事故現場写真展	10日～13日(4日)	〃	〃	白黒
流木工芸展	10日～14日(5日)	〃	〃	学校の小使さんの作品展
講演映画関係)				
阿部謙夫氏 社会講演会	13日(1日)	午後1時より 一般市民	〃	北海道放送 K K 社長 講師 阿部謙夫氏
子ども灯会(童話、物語)	10日～14日(5日)	毎日午前10時より 午後3時より 日2回 公民館	子ども	15少年漂流記 アラジンのランプ他
(その他)				
バザー	12日～13日(2日)	時間(11時～15時) 公民館	〃	寿し、ラーメン、カレー、ソバ、ジュース するこ、ぎょうぎ等の定食他
手芸作品即売会	13日(1日)	時間午後3時より	〃	先着順より予約受付します
市民講座サークルの集い	11日(1日)	〃	講座受講生	〃
流木工芸品即売会	13日(1日)	午後3時より	一般市民	先着順より予約受付します
入館者記録簿の設置	年 間	〃	〃	①記帳者には1年間公民館行事を案内する ②10月5日までの入館者中から20名にバザー入券を交付する 申込は200円を添えて10日まで 公民館へ
市民開基大会	10日、12日(2日)	午後1時から 人員50名	〃	〃
民話公開練習会	12日(1日)	午後1時より	〃	〃

待ちしています。留萌市の公民館は、これまで長い間借家住まいで活動を続けて来ましたが、その後旧電報電話局跡に移りこ、一、二年活発な活動を続けて来ました。このため、公民館の社会教育に対する認識を、市民の方々に深めていただくこと、これまでの公民館開催の各講座に参加した人たちのほか、広く一般市民の参加をいただいで、二十を越える各種の行事が催されることになったものです。とくに、この催しの中で料理講座の修了者で作っている料理サークルの会員たちによるバザー、手芸サークルの手芸作品即売会、開基の詰碁懸賞、民話公開練習会など、いままでの催しには見られない行事が盛り込まれています。会場は、おもに公民館と なっていますが、中には八幡屋デパート、留萌駅のものもありますので、お間違いないよう、おいでをお待ちしています。



“歩こう会”に家族連れで 全市民が有意義な日を

体育の日の10月10日、留萌市では、全市民の“歩こう会”などの行事が、次のように行なわれます。全市民の参加をお願いします。

〈歩こう会〉
全市民を対象。午前11時まで東光小学校に集会、千望台まで歩く。家族づれでの参加を、とくに希望します。

〈マラソン〉
参集場所—青少年会館

- 中学生女子—高校までの折返し
- 中学生男子—南町までの折返し
- 一般—港南中横—千望台—南町—会館
参加申し込みは前日まで、市教委、日刊留萌へ。
- 卓球
会場留萌小学校
- 小学校5、6年の部
- 中学校男子の部、同女子の部
- 一般男子の部 同女子の部
- ベテランの部 (35才以上)

五十嵐神社の復元進む

留萌港の父をしのび小公園化も

留萌港の父—五十嵐徳太郎さんの功績をながく後世に伝えるため、五十嵐さんのゆかりの地に建つ五十嵐神社の復元が進められ、港が見える小公園として整備する計画が進められています。

五十嵐神社は、市内大町3丁目の旧五十嵐邸に建てられていたものですが、その後放棄されたま、にたつていたものです。

このため、開基九十年、市制施行二十年を迎え、今日ある留萌港の発展などに多くの功績を残した五十嵐徳太郎さんの徳を賛え、五十嵐神社の復元のため、事業協賛会を作り、約二百万円をかけ、復元工事が進められています。

建てられる場所は、港の全容を見おろせる旧五十嵐邸に建てられ、五十嵐さんの功績を永く後世に伝えると共に、留萌港発展の守護神としてまつることになっています。

神社復元は、十月末に完了するよう工事が進められていますが、さらに約四十万円をかけて、鳥居の建設と整地を進め、将来は境内参道などを整備、小公園とする計画が進められています。

市としては、留萌港を見おろす景勝のこの地を、留萌の観光に組み入れると共に、留萌商工みなとまつりの拠点とするなどの計画も進めています。

青少年の作文 論文など募集

青少年の健全育成のため作文、論文、標語を懸賞募集しています。

作文は、満十八才未満の少年。わたくしの夢、わたくしの希望、論文は、満十八才以上二十才未満の青年。私の信条がテーマ。

応募は一人一点に限り、少年の部、青年の部とも四百字詰め原稿用紙十枚以内。また、標語は、青少年とグループ活動をテーマにだれでも応募できます。

作品は、いずれも東京都渋谷区代々木山谷町三四六社団法人 青少年育成国民会議へ、ことしの十月三十一日まで(当日消印有効)送ってください。

各部門とも、最優秀作品には、内閣総理大臣賞などが贈られるほか、優秀賞各部門十名、佳作各若干名に賞が贈られます。

くわしいことは、市青少年室にお問い合わせください。



りっぱな市旗が小沢さんから

金、銀輝く 市旗を寄贈

留萌市の象徴市旗を作るにあたって、私財約四十万円をかけた、りっぱな原旗が、市内明元町小沢友平さんから贈られました。

これは、小沢さんが市制施行、開基九十年の記念になるものを、と考え寄贈されたもので、濃紺緞れ錦あわせ地に、市章、フランジふきには純金糸。かもめの部分に純銀糸をふんだんに使い、製造業者も全道一、二のりっぱなもの太鼓印を押すほどのものです。

贈ッ物 ありがとう

留萌市民のためになる公共施設の建設資金の一部に、とというのが、堀松さん

の寄贈の真心。手渡された原田市長は、贈られた趣旨が十分生かされるように、さっそく担当課に、具体的な検討を指示しました。

旭川トヨベツト 市役所に、旭川トヨベツトから、新しい乗用車が寄贈されました。激増する交通事故の防止をかね、市内諸官公庁の中で車の数が少ない市役所の仕事に役立てて欲しいと贈られたもの。

この車、トヨベツトコロナデラックス一六〇〇、時価七十四万円もするりっぱなもの。

公共施設建設 にと三百万円 堀松為春さん



乗用車で市民のための仕事をと...



復元を待って留萌港の守護神に